

「イクメンプロジェクト」第1回「イクメンの星」に選定された方々

ニックネーム	こーめ
氏名	北橋 惇
年代	20代
育休・育児体験談	
<p>わたしは障害者で、高齢者介護施設の経理事務をしています。</p> <p>家庭は共働きで、もちろん、妻も働かなければやっていけない経済状況です。妻も41になり、「女性として生まれたからには、子どもを産みたい」との希望で、わたし自身も子ども好きであることもあり、一大決心をして子どもを作りました。</p> <p>無事、男児が産まれたのですが、育児も、経済状況も大変であり、「どうにもならない」と思っていたところ、職場の所長より、「最低限の出勤だけでいい、育休を取りなさい」との言葉を頂きました。</p> <p>この言葉は本当にありがたく、それ以降、わたしは子どもの夜泣きにも、昼夜逆転生活を送ることができ、毎日毎日、息子の笑顔を作るために、息子と向き合うことが出来ています。</p> <p>息子の可愛い笑顔が見れ、男性が育児をすること、認められることの大きさ、それによる家庭の幸せを、今、心から実感しております。</p> <p>共働きが多い時代、この不況の折り、夫婦において夫の方が給料が低くても、男性の育児休暇というものは、なかなかまだ認知、理解されていないものです。</p> <p>けれども、新しい社会作りの中で、さまざまな形が、今後生まれて来てもよいのではないかと思っています。</p> <p>育児をする幸せ。男性としてそれを感じられることに、今、心からの喜びを感じています。</p>	

ニックネーム	五十嵐 豊
氏 名	五十嵐 豊
年 代	30代
育休・育児体験談	
<p>第1子の誕生を機に、自営業の妻に代わって子育てに手を挙げました。社内初となる育児休業は取得も大変、しかも7ヶ月の育休が終わる頃には戻る部署が無くなってしまい、仕方なく専業主夫へ。</p> <p>初めは孤独な子育て、密室育児だったけれど、次第に共感してくれる人たちが増え、子どももうひとり増え、子育て広場や地域の子育て情報をまとめる組織の立ち上げ、講演会の企画、新聞でのイクメンコラムの連載、ブログでの情報発信、今年は地域のパパスイッチ事業など、地域の子育て環境の向上に取り組んでいます。</p> <p>僕の子育ての力になってくれた多くのママ友、地域の人たち、行政の人たち。自分自身が助けてもらえたように、今度はこれから子育てするみんなを助けたい。子育ては仲間がいるととっても楽しい！</p> <p>子育てに必要なことは、家族へのいっぱい愛情、そして共感するチカラ。家族といっぱい一緒に過ごせる今の時間を大切に、子どもを育てることは自分を育てること…それを実感しながら日々子育てに向かい合っています。</p> <p>兼業主夫田舎暮らし@北海道 http://tokachi.cocolog-nifty.com/blog/</p>	

ニックネーム	西村 貴志
氏 名	西村 貴志
年 代	30代
育休・育児体験談	
<p>2人目の妊娠時、妻が切迫早産で3ヶ月強の入院になりました。そのころ長男は幼稚園に通っていたため、長男の幼稚園生活を支えるところから育児奮闘？が始まりました。</p> <p>毎日のお弁当作り、幼稚園の送迎、園に持っていくものの準備など、いろんなことを妻にまかせっきりだったんだと痛感しました。</p> <p>次男が生まれたのち、1ヶ月間の『育児休暇』を取得しました。長期の入院生活を終えたばかりの妻には、生まれたばかりの赤ちゃんの育児は大変な負担をかけることになると思い、少しでもその負担を軽減したかったので、育児休暇を取ることを決意いたしました。</p> <p>入院中からの急な出産でしたから、予定よりも1ヶ月も早く育児休暇に入ることになり、会社のメンバーにも大きな迷惑をかけることになってしまいました。でも、周りの人たちは快く育児休暇取得を認めてくれました。</p> <p>本当に恵まれた職場環境だったと思います。</p> <p>1ヶ月間の育児休暇中、夜泣きでの1、2時間ごとの寝起き、おむつ交換、長男の幼稚園、それに家事と大忙しの1ヶ月間でした。(一番大変だったのは3食の料理かな。普段料理をしなかった分、苦労しました)</p> <p>大変な1ヶ月間でしたが、子供たちの成長を間近で見られ、また楽しくもある、本当に貴重な1ヶ月だったと思います。</p> <p>もし、次、3人目に恵まれることがあれば、またぜひ育児休暇を取得したいと思っています。</p> <p>育休を取得しようか悩んでおられる方、あるいはこれからお子さんが生まれる方、ぜひぜひ育休を取得されることをおすすめいたします。</p> <p>普段とは違う慣れないことをするので、大変なこともあります、それ以上に得られるも、感じられるものも多くあると思います。</p> <p>お互いイクメンとして頑張っていきましょう！！</p>	

ニックネーム	まさやん
氏 名	小谷 雅彦
年 代	30代
育休・育児体験談	
<p>子供が生まれたころはとても忙しく毎日仕事で午前様という日々を送っていました。子供が寝た後で帰宅。子供が起きる前に出社という生活だったので、子供達が自分の手作りの遊具で遊ぶ姿を思い浮かべながら、砂場、ダンボールの滑り台、ダンボールのお家を作ったり、週末には子供達と一緒に秘密基地やアスレチックジムなどを作りました。（ブログでも紹介しています。http://96550625.at.webry.info/）最近では父親の子育てサークル「チーム・パパざかり」を結成したり、父と子で思いっきり遊ぶ講座「ちちとコくらぶ」の講師をし、自分だけでなく周囲のお父さんも巻きこんでイクメンになることを目標に子育て奮闘中です。</p>	